

## 「1950年第1回日本ワールドシリーズ」 ポスター

野球体育博物館では3万点を超える様々な野球に関する資料を収蔵しており、そのうちの約2千点を入れ替えながら展示しています。その収蔵品の中から貴重な資料をご紹介します。

1950年に2リーグ制となり、セ・パ両リーグによる公式戦がスタート。この年から大リーグと同じように、リーグ優勝チームによる「日本ワールドシリーズ」が始まりました。これは1953年までの正式名称で、以降は「日本シリーズ」となりました。

写真は記念すべき最初の日本シリーズ「毎日オリオンズ対松竹ロビンス」のポスターです。

「第1回日本ワールドシリーズ」の文字と両チームの球団旗、ボールをつかむ右腕が力強く描かれています。

このシリーズは、フランチャイズ制が始まる前でもあり、神宮、後楽園、甲子園、西宮、中日、大阪と各地で開催されました。パの毎日が4勝2敗でセの松竹をやぶり、初代日本一に輝きました。別当薫選手(毎日)がMVPを受賞しています。

